

# THE ESSENCE

TOKYO DENKI UNIVERSITY



# 「失敗を恐れない。常にチャレンジ」

— 鯉沼 久史〈ゲームプロデューサー、会社経営者〉

ゲーム会社でクリエイティブな仕事をしたいという情熱を胸にTDUでは情報科学を学び、独学でプログラミングを始めた鯉沼久史氏。これまでに、無双シリーズや「進撃の巨人」などのコラボレーション作品、「仁王」など、数々のタイトルのプロデュースを手がけてきた。「新しいハードで、新しいことをやるのが楽しくてしょうがなかった」と言う鯉沼氏は、現在もプロデューサーとして、また会社の代表としてグローバル化を担う。

彼は言う。「大きなチームで進めるゲーム開発は信頼関係が必要」。そして創造と貢献を目指して「もっと面白い、もっと楽しい、最高のコンテンツを目指していきたい」。その姿勢が多くの人々に支持される。鯉沼久史氏の言葉から。「常に新しいモノを創造していく」



CASIO

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat  
0 10 20 30 40 50 PM  
10:58

CASIOTRON  
QUARTZ  
JAPAN

# 「技術は冒険ではない。 必ずできる、という確信です」

— 榎尾 俊雄〈発明家、カシオ創業メンバー〉

エジソンの伝記に感動し、発明家を志した榎尾俊雄氏。TDUの前身、電機学校での勉強がその後の開発で生きたと回想。常に自分の頭で考え、物事の本質を追究。7年をかけて計算機を、そして電卓、時計、電子楽器を完成させる。

俊雄氏は「時間は1秒ずつの足し算」と考え、電卓の技術を応用し1974年、世界初の自動カレンダー機能を搭載した腕時計「カシオトロン」を完成。1983年には耐衝撃腕時計「G-SHOCK」に発展し、時計の世界観を塗り替えた。CASIOブランドは世界中に定着した。

まだ世界が気づいていない「必要」を「発明」と語っていた榎尾俊雄氏からの言葉。  
「夢を夢で終わらせず、夢を現実にする。ロマンを感じませんか？」

Discover

**Tokyo Denki University**

新しい時代を創造する東京電機大学



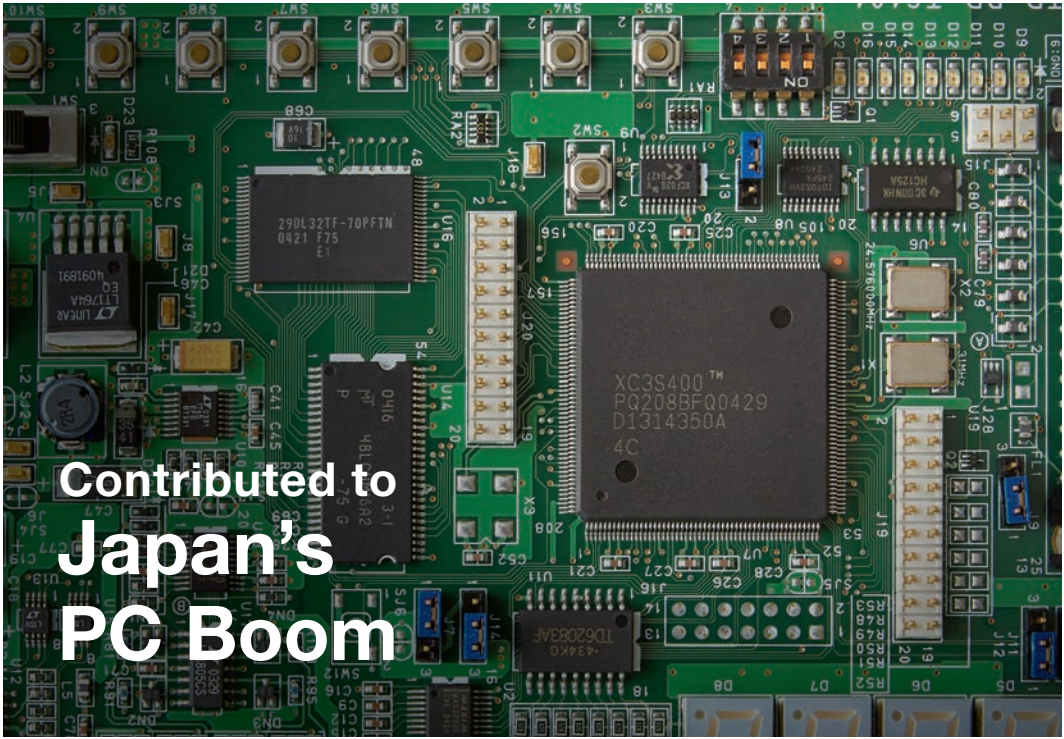
Oh! Akihabara!



# 世界中から注目される秋葉原 発端はTDU

世界有数の電気街、秋葉原、通称「Akiba」。秋葉原は第二次世界大戦の終戦直後に、当時まだ貴重だったラジオを組み立てるTDU学生が電子部品を争うように購入したことが発端で、急速に発展。その後、商品は洗濯機や冷蔵庫、テレビやオーディオ、そしてコンピュータや携帯電話などに増えて、時代の最先端の街であり続けている。さらに日本発のマンガ、アニメ、フィギュアなどポップカルチャーの情報発信地としても世界中から注目され、多くの観光客が訪れている。

新しい時代を発信し続ける秋葉原の育ての親は、TDUなのだ。



Contributed to  
**Japan's  
PC Boom**

# パソコン創成期をリードしたTDU

機械式だった計算機を電気で動かそうと、1942年にデジタルコンピュータが誕生しエニアック等が続いたが、部屋一杯の大きさで重量で膨大な電気を使用。その後プログラムを内蔵させるノイマン型コンピュータ、さらにトランジスタ、IC、LSIの発展とともに小型化。そしてついに1977年、アップル社がマイクロコンピュータを発表し、個人が入手できる時代が到来。

実は、日本のパソコン創成期をリードし、その拠点となったのはTDU。安田寿明教授(当時)の『マイ・コンピュータ入門』(1977年、講談社ブルーバックス)など3部作が“バイブル”となり、NECのPC-8001の発売とともに本格的な大ブームに。TDUはマイ・コンピュータのメッカとなり、IT業界では「石を投げればTDU卒にあたる」と言われるほど、多くの卒業生が活躍している。



Pioneering Innovations for  
**Over 100 Years**



# 先駆的、革新的、創造的であれ——TDU100年を超える実績

## 1907年9月 「電機学校」創立●TDUの始まりは夜間学校

若き技術者の廣田精一と扇本眞吉が、働きながら学ぼうとする人のために東京・神田に創立。英文専門書しかなかったため独自の教科書を作成。通信教育も開始。

## 1914年 『OHM』(オーム) 創刊●廣田精一がオーム社を創業

工業教育の普及を目指し、電機学校創立と同年に出版部を設置。さらにOHM創刊とともにオーム社を創業。現在は科学技術出版社の最大手に発展。

## 1924年12月 毎週土曜日にラジオ実験放送スタート●NHKよりも早い

NHKのラジオ実験放送は1925年3月から、本放送は7月開始。

## 1928年11月 高柳健次郎氏によるテレビ公開実験●日本初

教育効果が高いと注目を浴びた実演室で開催。当時公開実験を行えたのがTDU。その後テレビ放送、地上デジタル放送移行でも多くの卒業生が重要な役割を担い、新しい時代を拓いてきた。

## 1949年 「東京電機大学」開設●初代学長は丹羽保次郎博士

丹羽博士はファックスの開発者、日本の十大発明家に名を連ねる。

## 1958年 大学院開設●日本初の夜間大学院

夜間大学院(3年制)を開設。工学部第二部、大学院昼夜開講など社会人教育の伝統が息づく。

## 2012年 「東京千住キャンパス」開設●最新技術で7つの受賞

最先端の省CO<sub>2</sub>、防災、情報技術を導入し、国土交通大臣賞、資源エネルギー庁長官賞などを受賞。

Founded in 1907





# 「懇切親愛こそが、先生の価値である」

## — 創立者の言葉より

1907年9月11日の夕方、最初の生徒14人が神田の電機学校に登校した。

絶対に休講しない、一流の講師陣による明快な講義、アドバンス・コピー（予稿）、実物説明による丁寧な教育、著名人による科外講座などが評判になり、入学者は急増。下校する生徒の波は神田駅まで続いた。

「技術で社会に貢献する人材の育成」を目指した、

技術者が創立した技術者のための学校。

最初の卒業生は14人。今日までの卒業生の総数は23万人。



**In the Technology  
Breathes its Creator**



# 「技術は人なり」

TDUの教育・研究理念「技術は人なり」は、初代学長・丹羽保次郎博士の言葉。欧米の技術に対し、日本独自の研究開発の必要性を感じて欧米を視察。帰国後、写真電送の研究に取り組み、我が国初の写真電送装置（現在のファックス）を開発。1928年、毎日新聞社の依頼で昭和天皇即位式の写真を京都から東京へ電送し、成功。性能で外国製を圧倒した。その後、ベルリン五輪で長距離の無線写真電送にも成功。日本電気専務取締役等を経て、1949年にTDU学長に就任。日本の科学技術振興の第一人者、またIEEE（米国電気電子学会）前身のIRE（米国無線学会）の副会長としても活躍した。



「私は常に『技術は人なり』といいます。古くから『文は人なり』という言葉がありますが、(中略)これと同じように、できた物を見るとそれを設計した、また作った人柄がわかるのであります。よい機械を作るにはよい技術者になることです。そこに修養、訓練の必要があるのです」  
（「技術は人なり。— 丹羽保次郎の技術論」より抜粋）

# Noteworthy Faculty Members

## 歴代の著名な教員

〈順不同、敬称略、故人含む〉

### ■ 電機学校を創立、技術者 廣田 精一

東京大学卒業。ドイツのシーメンス・ハルスケ電気会社入社、欧米諸国を視察。1907年扇本眞吉とともに電機学校創立。1914年オーム誌創刊、1916年総務理事就任。1921年現 神戸大学工学部初代校長。電気自動車開発に注力し、エジソンにも面会。日本の工業教育に多大な貢献。

### ■ 電機学校を創立、技術者 扇本 眞吉

東京大学卒業。ドイツのシーメンス・ハルスケ電気会社、深川電燈株式会社、江ノ島電気鉄道株式会社等を経て、1907年廣田精一とともに電機学校を創立。初代校長として尽力。1916年財務理事に就任。専心その任にあたる。

### ■ ファックス発明、初代学長 丹羽 保次郎

東京大学卒業。現在の産業技術総合研究所、日本電気を経て1949年に本学の初代学長に就任。日本電気時代に発明した写真電送装置（ファクシミリ）は昭和天皇即位式のニュース写真送信に用いられ、優れた品質が世界に知られる。さらに東京・伊東間で日本初の長距離無線写真電送の実験に成功。以後ファックスが普及。1959年に文化勲章、1971年に勲一等瑞宝章。特許庁選定の日本の十大発明家に数えられる。

### ■ 医用電子工学の創始者 阪本 捷房

東京大学卒業。同大教授、工学部長を経て本学の教授、第2代学長。日本のエレクトロニクスの草分けの一人。日本ME学会初代会長、国際医用生体工学連合の会長。NHK、現在のNTT、JR、東芝の顧問などを歴任。勲二等旭日重光章。

### ■ アルマイト開発 瀬藤 象二

東京大学卒業。同大教授を経て理化学研究所、東大生産技術研究所初代所長等を務めたのち、本学理事長に就任。1928年にアルマイトを開発。電子顕微鏡の国産化に尽力。電気学会会長、日本電子顕微鏡学会会長、東芝専務取締役等を歴任。1955年に紫綬褒章、1973年に文化勲章。

### ■ 「岡村の方式」発明 岡村 總吾

東京大学卒業。同大教授、工学部長、総長特別補佐を経て本学教授。第4代学長。低レベル信号を検出する「岡村の方式」を発明。マイクロ波電子管の研究で知られ、電波通信行政に尽力。国際大理事長、日本学術振興会理事長、国連大学長特別顧問など歴任。文化功労者。

### ■ 山本書店店主、評論家 山本 七平

イザヤ・ベンダサン著の『日本人とユダヤ人』を翻訳。独特の日本人論などを展開し、著書多数、マスコミ登場多数。本学では講師として長年にわたり講義を担当。

### ■ 「みどりの窓口」開発 穂坂 衛

東京大学卒業。JR研究所、東大教授を経て本学教授。1960年、鉄道では世界初といわれるオンライン座席予約システム「みどりの窓口」を開発。日本初の証券取引システム、CADも開発。元情報処理学会会長。紫綬褒章、日本学士院賞。米国電気電子学会の「The Computer Pioneer Award」受賞は、日本人初。

### ■ パソコンブームの火付け役 安田 寿明

電気通信大学卒業。読売新聞を経て本学教授。1970年代後半に、3部作『マイ・コンピュータ入門』『マイ・コンピュータをつくる』『マイ・コンピュータをつかう』(講談社ブルーバックス)を著し、日本のパソコン普及をリード。『パソコン創世記』(富田倫生著、青空文庫)に詳しい。

### ■ 応用解析学研究のリーダー 一松 信

東京大学卒業。立教大学、京都大学の教授を経て本学教授。多変数関数論、数値解析、計算機科学のリーダー的な研究者。著書多数。日本数学会出版賞。京都大学名誉教授、日本数学検定協会名誉会長。

### ■ ロボット工学の第一人者 原島 文雄

東京大学博士課程修了。同大生産技術研究所所長、都立科学技術大学学長等を経て、本学第7代学長に就任。ロボット工学、制御工学、電気工学研究の第一人者。電気学会会長などを歴任。2015年に瑞宝重光章。元 首都大学東京（現 東京都立大学）学長。

### ■ 倒立振り「Furuta Pendulum」で有名 古田 勝久

東京工業大学博士課程修了。同大教授を経て本学教授、第8代学長。本学名誉学長。システム同定や非線形制御、ロボット・メカトロニクスで実績。計測自動制御学会会長、日本学術会議会員を歴任。

### ■ JPEG、MPEG規格を標準化 安田 浩

東京大学博士課程修了後、NTTや東大教授などを経て本学教授、第9代学長。本学顧問。画像処理、画像符号化などの分野に携わり、JPEGとMPEG国際規格標準化の功績によりエミー賞、米民生技術協会（CTA）殿堂入りメンバー。複合領域サイバー・セキュリティ技術を提唱。「情報セキュリティの日」功労賞、紫綬褒章。

### ■ 情報セキュリティの第一人者 佐々木 良一

東京大学卒業。日立製作所などを経て本学教授。本学名誉教授。日本セキュリティ・マネジメント学会会長、デジタル・フォレンジック研究会会長、内閣官房サイバーセキュリティ補佐官を歴任。総務大臣表彰（情報セキュリティ促進部門）、「情報セキュリティの日」功労者表彰。

### ■ 電動パワーステアリング開発 清水 康夫

本学卒業。本田技術研究所を経て本学教授。世界に先駆けて電動パワーステアリングの開発に成功。全世界に普及させ、環境問題にも大きく貢献。自動車用可変ギヤ比ステアリングも発明、世界初で実用化。全国発明表彰特別賞特許庁長官賞など。紫綬褒章。園遊会出席。

### ■ 地盤工学の第一人者 安田 進

東京大学大学院博士課程修了。民間会社、九州工業大学助教授を経て、本学教授。本学名誉教授。地震による地盤災害など、地盤工学・地震工学の研究をリード。日本地震工学会会長等を歴任。国土交通大臣、経済産業大臣、文部科学大臣、内閣総理大臣から表彰。

# Remarkable Alumni

## 著名な卒業生 （順不同、敬称略、故人含む）

### ■ カシオの創業メンバー、発明家 榎尾 俊雄

元 カシオ計算機(株) 代表取締役会長。世界初の小型純電気式計算機「14-A」、電卓、時計、電子楽器など発明品は多数。日本のエレクトロニクス産業の発展に貢献した。生涯で取得した特許は313件。藍綬褒章、米国家電協会の生涯業績賞。自宅は「榎尾俊雄発明記念館」。本学の東京千住キャンパスに「カシオホール」がある。本学名誉博士。

### ■ 電子顕微鏡実用化、日本電子(株)の創業メンバー 高橋 勲次郎

レーダーや電子レンジに使われるマグネトロン の原型を発明。電子顕微鏡の実用化にも成功。日本電子専務取締役等を歴任後、日本電産コパル電子顧問。

### ■ 初の国産心電計を開発、フクダ電子(株)の創業者 福田 孝

医療機器専門メーカーとして病院向け検査・治療機器などを展開し、開発と普及に尽力。本学の東京千住キャンパスに「福田記念セミナー室」がある。

### ■ 横河電機(株)の創業者 横河 一郎

大正時代に欧米を視察し、電気計器の研究所を設立。電流計、電圧計、電力計など、電気計測器の国産化に成功。YOKOGAWAを世界に広める。

### ■ (株)コロナの創業者 内田 鐵雄

ガソリンコンロ販売からオリジナルコンロを研究開発し、日本初の加圧式液体燃料コンロの開発に成功。石油コンロ、石油ストーブの開発を成し遂げ、同社は日本を代表する暖房器具メーカーに成長。

### ■ (株)ケースホールディングス 名誉会長 加藤 修一

家業の加藤電機商會を全国区の家電量販店ケースデンキに成長させた。

### ■ (株)ソディックの創業者、元 代表取締役会長 古川 利彦

高精度製品の製作に欠かせない放電加工機の研究・開発。金型加工技術の発展に貢献。旭日小綬章。本学名誉博士。

### ■ (株)マクニカの創業者 神山 治貴

技術商社のマクニカ名誉会長。(公)日本ニュービジネス協議会連合会副会長。神山財団理事長。本学名誉博士。

### ■ 富士ソフト(株)創業者 野澤 宏

1970年創業。代表取締役社長、会長、相談役など歴任。同社をソフトウェア開発の国内大手に成長させた。

### ■ アストロデザイン(株)創業、代表取締役社長 鈴木 茂昭

1977年創業の同社は、リアルタイム高速信号処理技術を得意とし、世界初、日本初にこだわり、8Kをはじめ超高精細映像機器、計測機器の最先端に行く。

### ■ ミサワホーム(株)代表取締役社長執行役員 作尾 徹也

取締役常務執行役員、取締役専務執行役員を歴任し現職。同社は住宅業界で随一、34年連続、計172点のグッドデザイン賞を受賞。

### ■ 元 国鉄(現JR)電気局長・副技師長 八木 正夫

同社で監査委員も務めたほか、鉄道情報システム常務取締役、トランスネット社長も歴任。瑞宝中綬章。

### ■ 元 西武鉄道(株)取締役 遠山 毅

西武車両代表取締役社長も務めた。

### ■ 元 日本テキサス・インスツルメンツ(株)代表取締役社長 石川 明

米テキサス・インスツルメンツの上席副社長も兼任した。テキサス大学の「実績の殿堂」入り。

■ (株) コーエーテックモゲームス 代表取締役社長 鯉沼 久史

プログラマーを経て、無双シリーズや「進撃の巨人」などコラボレーション作品を多数担当。

■ 三菱電機(株) 社友 末木 孝幸

社会インフラ海外事業部長、電力・産業システム事業本部副本部長等を歴任し、三菱電機中国総代表、常務執行役員国際本部長、顧問を経て現職。

■ (株) トプコン 代表取締役会長 平野 聡

2013年より代表取締役社長 CEOを務め、2023年より現職。医(ヘルスケア)・食(農業)・住(建設)に関する社会的な課題解決をDXソリューションで展開するグローバル企業経営を推進。

■ 元 (株) 大気社 代表取締役社長執行役員 上西 栄太郎

取締役、大阪支社長等を歴任。空調設備のバイオニアである同社は、自動車塗装設備においても世界トップクラスのシェアを誇る。本学校友会第47代理事長。

■ Hitachi Rail Ltd. Design Authority Chief Engineer UK RS

兼 (株) 日立製作所 鉄道ビジネスユニット CTO [Japan] 稲荷田 聡

同社、Japan LoB Vehicles 主管技師長、HS2プロジェクト統括室長を兼務。英国高速鉄道など、鉄道車両用電気・制御システムの開発・インテグレーションを担当。博士(工学)。

■ 元 日本テレビ放送網(株) 取締役専務執行役員 田村 信一

主に送信部門でキャリアを重ね、技術統括局担当の取締役専務執行役員に。テレビ放送デジタル化を推進。第62回前島密賞受賞。

■ 元 インテル(株) 執行役員常務 技術本部長 土岐 英秋

インテルCPU開発部門、ノートブックPCでの電力管理機能実装の開発支援、プラットフォーム技術部門を経て、執行役員常務 技術本部長を務めた。

■ 元 スタンレー電気 代表取締役社長 手島 透

日仏GH型フルカラー LCD技術開発・実用化に尽力。液相式高輝度赤色LEDを開発・実用化。本学名誉博士。

■ 元 (株) 関電工 取締役社長 社長執行役員 森戸 義美

同社取締役常務執行役員南関東・東海営業本部長、取締役副社長を歴任。

■ 亀田製菓(株) 相談役 佐藤 勇

同社代表取締役社長COO、代表取締役副社長を歴任。

■ アンリツ(株) 代表取締役社長 濱田 宏一

通信用計測器の有力企業。携帯電話や基地局に強い。海外でも高シェア。専務執行役員、取締役を経て現職。

■ 米国 Plastics Hall of Fame 殿堂入り 田中 秀雄

東芝機械(株)(現 芝浦機械(株))に入社後、射出成形機にかかわる開発、海外との連携を活発に行う。日米プラスチック工業会の発展に貢献。

■ 元 (株) 中電工 代表取締役会長 加藤 義明

中国電力代表取締役副社長、広島県体育協会会長を歴任。

■ 元 オリンパス(株) 取締役執行役員 長崎 達夫

内視鏡、デジタルカメラの分野で約200件の特許を取得。研究開発センター・新事業開発本部長、同社取締役執行役員、オリンパスシステムズ(株) 会長を歴任。

■ 元 太陽石油(株) 研究長 幾島 賢治

太陽石油(株)にて研究長を務め、石油製品中の水銀除去装置の開発(石油学会技術進歩賞受賞、オマーン王立スルタン・カブース大学功労賞受賞、ものづくり日本大賞受賞)に携わる。博士(工学)。放送作家。

■ 内閣官房参与 飯島 勲

第2次安倍内閣、菅内閣、続く第2次岸田内閣で内閣官房参与。元小泉内閣総理大臣首席秘書官。21世紀政策研究所(経団連)顧問。

■ **国立科学博物館 名誉研究員、名誉館員** 石橋 一郎

同博物館の工学分野の要職を歴任、元 理工学研究部長。勲四等旭日小綬章。

■ **元 郵政省電波研究所 統合研究官** 角川 靖夫

同研究所は現在の情報通信研究機構。電波技術協会の元常務理事。前島密賞。瑞宝小綬章。

■ **元 日本弁理士会会長** 田中 正治

田中正治国際特許事務所所長。特許庁工業所有権審議会委員等を歴任。弁理士会特別功労表彰。旭日小綬章。

■ **高松大学・高松短期大学学長、**

**学校法人四国高松学園理事長** 佃 昌道

学校法人四国高松学園副理事長、高松大学経営学部教授を歴任。専門は情報科学。

■ **三条市立大学学長** アハメド シャハリアル

本学フロンティア共同研究センター専任講師、新潟産業大、沖縄科学技術大学院大で勤務。新潟県三条市で市立大学設立に尽力、2021年現職に就任。バングラデシュ出身。

■ **元 全国工業高等学校長協会理事長・顧問** 岩本 洋

都立蔵前工業高校校長も務めた。工業高校教育の発展に尽力。

■ **元 (株) オーム社 社長・最高顧問** 三井 正光

元 日本書籍出版協会理事。日本出版クラブ出版平和堂頭彰。

■ **元 インドネシア国家イノベーション委員会会長** ズハール

バンドン工科大学、インドネシア大学、アル・アズハル・インドネシア大学学長を経て、インドネシア政府要職を歴任。旭日重光章。本学名誉博士。

■ **特撮の神様** 円谷 英二

ゴジラやウルトラマンなど、昭和の特殊撮影技術の第一人者、映画監督、撮影技師、発明家。(電機学校在籍)

■ **特撮監督・プロデューサー** 築地 米三郎

円谷英二とも交流。「大怪獣ガメラ」や「コメットさん」を特撮。映画功労賞。

■ **「スペースインベーダー」開発者** 西角 友宏

タイトー時代に「スペースインベーダー」を開発し、大ブームを起こした。元 ドリームス代表取締役、現 タイトー アドバイザー。

■ **「東方Project」の原作者** 太田 順也 (ZUN)

東方Projectは巨大コンテンツに成長。東方シリーズ開発者。同人サークル「上海アリス幻楽団」の主宰者。

■ **プロ野球審判員 副審判長** 笠原 昌春

NPB (日本野球機構) 審判員。審判員袖番号は8。2019年に通算2500試合出場達成。2021年シーズンからシニアクルーチーフを経て、2023年より現職。

■ **作家** 新田 次郎

気象庁富士山測候所勤務などを経験し、『強力伝』で直木賞。『網走路』『孤高の人』『八甲田山死の彷徨』など山岳小説の分野を拓く。

■ **作家** 熊谷 達也

『邂逅の森』で直木賞と山本周五郎賞をダブル受賞、『漂泊の牙』で新田次郎文学賞。

■ **クロスアップ・マジシャン** 前田 知洋

プライムタイムの特別番組をはじめ、100以上のテレビ番組やTVCMに出演。英国チャールズ皇太子もメンバーである The Magic Circle London のゴールドスターメンバー。

# 就職実績に表れるTDUの実力

モノづくりには、科学の「知識」と実際にモノを構成する「能力」が必要。TDUでは実社会で活躍できる技術者の育成を目指し、知識の修得はもちろん、実験・実習、ワークショップ等を充実させ、その能力を育成している。実際にモノをつくれる能力は、社会での卒業生の評価につながり、現在の就職実績に表れている。

企業の採用基準は学力だけではない。学校で得た知識の量は、社会での活躍に必ずしも比例しない。企業のTDUへの信頼は篤い。

就職活動を経験した学生たちは、企業での母校の評価の高さに驚き、また先輩卒業生たちの温かい支援に感激する。100年を超える実績が、難関大学でも難しい就職実績を実現させている。

**Know Your True Value**



## 最近5年間の内定企業 実績 (2019年3月～2023年3月卒業生、修了生実績)

		(人)			
1	三菱電機	72	6	日本電気 (NEC)	39
2	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	71	7	沖電気工業	35
3	凸版印刷 (現TOPPAN)	52	7	スズキ	35
4	SUBARU	48	7	富士通	35
5	本田技研工業 (ホンダ)	40	7	富士電機	35
11	東京電力	30	17	SMC	22
12	大和ハウス工業	28	17	NECソリューションイノベータ	22
13	大成建設	27	17	日立製作所	22
14	東海旅客鉄道 (JR東海)	26	20	大日本印刷	19
15	アルプスアルパイン	23	21	いすゞ自動車	17
15	関電工	23	22	ソフトバンク	16
			22	ミネベアミツミ	16
			24	インターネットイニシアティブ	15
			24	ヤフー	15
			26	キャノン	14
			26	積水ハウス	14
			26	日産自動車	14

2023年3月現在

### 卒業生が現役トップの上場企業

- 社長・会長クラスは7社
- 代表権のあるトップは7名
- 役員は44名

『役員四季報2024年版』(東洋経済新報社)より

### 就職に強い大学としての信頼感

- 在学中の資格取得に積極的 第4位
- 就職状況が良い 第14位

(日経BPコンサルティング大学ブランドイメージ調査 首都圏120校より)

就職内定率 ■ 98.7% 2023年3月現在

# Contributions to Society



# 「学生を教えるだけが学校ではない」

TDUは創立以来、広く社会への科学技術の知識の普及を目指し、さまざまな実績を重ねてきた。

## 夜間開講と社会人教育

工学部第二部、昼夜開講の大学院など、働きながら学べる環境にある。さらに、公開科目や科目等履修生制度等を用意し、一般・社会人のための学習環境を充実させている。

## 公開講座

「ME (医用生体工学) 講座」をはじめ、各種講座や講演会を展開。また、子ども向け体験教室も積極的に開催。

## 産学交流で知財を社会に還元

大学の研究成果などの知的財産を社会で役立てるため、受託研究や共同研究、技術移転等を行っている。特に技術移転機関 (TLO) は、私立大学で4番目に設立。また、足立区と連携し創業支援施設「かけはし」を運営。

## 理工系大学唯一の出版局

「科学技術と教育を出版からサポートする」ことを目指す。発行書籍は全国の主要書店で販売されるほか、多くの大学や高専などの教科書としても活用されている。大学出版では唯一、文部科学省教科書を発行。

## 展示やイベントで興味喚起

埼玉鳩山キャンパスでは、エジソン蓄音機などを展示。東京千住キャンパスの電大ギャラリーでは、常設展や企画展のほかイベントも開催。地域住民にもギャラリーを開放している。

# Meet Your Potential at TDU

東

# 100年前も、今も、そして未来も、 TDUを学び舎とした人のイメージは変わらない

- 東京電機大学は専門性が高く、目的意識をもって勉強すれば大きく成長できる。難しい授業や、「実学尊重」に基づいた厳しい実験・実習、レポートもあるが、困難な課題に挑戦した経験、乗り越えたときの達成感は、一生の財産になる。
- 先生は、第一線の研究者や実業界からの人材が多い。「技術は人なり」の理念にふさわしい先生方の親身な指導は、TDUの伝統でもあり、感謝している。先生方の薫陶を受け、人間として成長できる。また研究室やクラブ活動を通して、素晴らしい友人を得られた。
- 学生の多くはモノづくりが好き。まじめで素直。先進性や協調性がある。
- 受け継がれている精神と理念、特色ある教育、創立以来の先輩の活躍により、TDUへの企業の評価は高く、非常に高い就職実績を堅持している。そして卒業生は、社会の第一線で、常に新しい時代を創造し続けている。

# Hope for Tomorrow

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



# 「一生懸命取り組む人には、成果が訪れる」

— トーマス・エジソン (1847～1931年)

18世紀イギリス、ジェームズ・ワットの蒸気機関発明によって産業革命が進展し、人間の生活は豊かになった。科学技術は急速に発展し、今日の情報革命は第4次産業革命といわれる。しかし、地球温暖化、人口、食糧、資源・エネルギー、さらに情報セキュリティ、そしてSDGsなど、課題も多い。だが、そうした課題を解決できるのも、新しい未来を夢みてカタチにできるのも、科学技術者と言える。

「科学技術者は喜びに恵まれている」(丹羽保次郎博士) のだ。

TDUは、建学の精神「実学尊重」、教育・研究理念「技術は人なり」を掲げ、「技術で社会に貢献する人材の育成」を使命とし、これからも、人と社会の未来を創造する技術者を送り出していく。



学校法人東京電機大学 総務部(企画広報担当)

TEL 03-5284-5125 FAX 03-5284-5180

E-mail [keiei@jim.dendai.ac.jp](mailto:keiei@jim.dendai.ac.jp)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/>